

ピースなど木製グッズに

とべ動物園の魅力発信

松山大生ホルダー・箸置き製作

松山大生が企画し、商品化したピースなどの木製ホルダーと箸置き

11月4日午後、松山市道後樋又



3年生17人が商品を企画。絵柄も学生が描き、とべ動物園の担当者が動物の毛並みや指の本数など細かい特徴を監修して完成させた。

ホルダーは、大人のピースと子ども用のピースを描いた2種類で各500円。箸置きはピースとライオン、カワウソ、ペンギンの4種類で各300円。

4日、松山市道後樋又の松山大樋又キャンパスでお披露目会があり、学生が商品をPRした。ホルダーを担当した筆脇乙葉さん(21)は「木のぬくもりを感じられる商品になった」。箸置きを担当した阿部愛生さん(21)は「日常使いできるものなので長く使ってほしい」と話した。

プロジェクトは2020年にスタートし、商品化は7品になった。(中舗晴子)

園で販売する。誕生日会が開かれる7日から

社会人基礎力育成事業

「Zoo Project」

に所属する経営学部の2、

県立とべ動物園(砥部町上原町)の魅力を発信し、活性化を目指そうと、松山大の学生がホッキョクグマのピースなどをモチーフにした木製のホルダーと箸置